□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□

◆□□□2023□12□23□□□□□□□□□10□□□□□□□18□

◆□□□

◆□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

◆□□□

◆□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□

その他（一般のかた）：　2,000円

生活に困窮しているかた：　500円（自己申告制）

※参加費振込先

りそな銀行 豊中支店 普通預金 口座番号 0３３７４０２

口座名義　全国クレサラ・生活再建問題被害者交流集会実行委員会（ｾﾞﾝｺｸｸﾚｻﾗ･ｾｲｶﾂｻｲｹﾝﾓﾝﾀﾞｲﾋｶﾞｲｼｬｺｳﾘｭｳｼｭｳｶｲｼﾞｯｺｳｲｲﾝｶｲ　）

※なお、分科会も進行中ですが、10月29日が最終（参加費別途）

【参加申込み】

申込み用**URL**：**https://forms.gle/YEc6yXybb9useH3v9**

【主催】

第42回 全国クレサラ・生活再建問題被害者交流集会実行委員会

全国クレサラ・生活再建問題対策協議会

全国クレサラ生活再建問題被害者連絡協議会

【懇親会、問い合わせ先等、その他詳細】

https://cresara-event.jimdofree.com/

https://cresara-event.jimdofree.com/%E5%8F%82%E5%8A%A0%E7%94%B3%E3%81%97%E8%BE%BC%E3%81%BF/

11/18-19シンポジウム”復興の人間科学2023”①福島原発事故12年の経験から学ぶ②フクシマの“いま”を知る

シンポジウム“復興の人間科学2023”が、下記のとおり開催されます。どなたでも参加できます。オンライン参加も可能です。是非、ご参加ください。

2023年**11**月**18**日（土）**10**時／**19**日（日）**10**時

早稲田大学大隈記念講堂（小講堂/大講堂）無料，申込不要

Zoom同時開催（Zoom参加の場合ネット申し込み制：https://wima.jp/）

◆主催：早稲田大学人間総合研究センター，早稲田大学災害復興医療人類学研究所（WIMA）

大会長：辻内琢也，実行委員長：平田修三，事務局長：金智慧

◆共催: MITATE Lab. Post-Fukushima Studies(フランス国立科学研究センター見立てラボ)（2日目）https://mitatelab.cnrs.fr/

□□□□科研費基盤研究（B）：原発事故被災者の移住・帰還・避難継続における新たな居住福祉に関する人間科学的研究

◆問合せ先（WIMA研究所事務局：辻内研究室内）：〒359-1192　埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15□（ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ事務局）　E-mail:　shinsai-wima@list.waseda.jp

［使用言語：日本語 Language; Japanese, ZOOM英語字幕付: with English caption］

【1】□福島原発事故12年の経験から学ぶー当時小中学生だった若者達との対話から（第2回）－

Lessons from 12 Years of Experience after the Fukushima Nuclear Accident : From the Dialogue between Young Victims and Researchers

［11月18日（土）］ 大隈記念講堂□小講堂

［ご挨拶］□10:00□開会の挨拶□ 西村昭治（早稲田大学人間総合研究センター所長）

［第1部］□10:05～

□①企画趣旨・諸注意：平田修三（15分）（大会実行委員長・仙台青葉学院短期大学准教授）

□②避難経験のある若者5名による発表（各20分）

□③早稲田大学人間科学部学生による

□□□□□□□□□事前インタビュー調査結果・考察（各10分）

□④本シンポジウム企画教員5名によるコメント（各8分）

□□□□□（扇原淳，小島隆矢，多賀努，日高友郎，明戸隆浩）

□□※1組目 10:20～11:00, 2組目 11:00～11:40、 3組目 11:40～12:20,

□□□ Lunch Time 12:20～13:20

□□□ 4組目 13:20～14:00, 5組目 14:00～14:40

［第2部］□14:45～基調講演「演劇から考える原発事故の十二年：高校生たちと作る」

□話し手：佐藤茂紀（演出家・劇作家・高校教諭）

□聞き手：吉田千亜（フリーライター・ノンフィクション作家）□

□コメンテーター：辻内悠（応用演劇プラクティショナー）

内容：佐藤茂紀さんがこれまで高校生と作ってきた演劇を通して，ライター吉田との対談形式で原発事故について考える。また，佐藤さんのこれまでの演劇の動画なども交えて，子どもたちと関わってきた佐藤さんの思いも聞かせていただく。

［第3部］□16:00～□パネルディスカッション：辻内琢也（司会）

□□□□□ □被災当事者5名，吉田千亜，金智慧，平田修三

□①テーマA：原発事故後12年の経験の意味・意義を考える

□②テーマB:若者達による日本社会・国際社会への提言

［第4部］□17:20~□□シンポジウムへのコメント

□□村上信夫（茨城大学人文社会科学部教授）

□□萩原裕子（WIMA招聘研究員・臨床心理士・震災支援ネットワーク埼玉SSN心理相談チーム代表）□

［ご挨拶］□17:50~□閉会の挨拶：金智慧（大会事務局長・早稲田大学人間総合研究センター次席研究員）

■11/18基調講演（話し手）■ 佐藤茂紀 (Shigenori Satou)

＜プロフィール＞福島県出身．演出家・劇作家・高校教諭，日本演出者協会理事，日本劇作家協会会員，福島県高校演劇連盟理事．

►福島県郡山市を拠点とする劇団ユニット・ラビッツを結成．同劇団主宰，脚本・演出に携わる．高校演劇部顧問．劇団公演，高校演劇のほか，各種公共事業においても脚本，演出を担当．震災後は，演劇の力をもって今の思いを伝えようと，福島県産演劇25作品を発表．

■主な作品■

『この青空は，ほんとの空ってことでいいですか？』（2011）『劇王X～天下統一大会～』東北代表（2012）

『奥羽行進曲』（2013）

『あれからのラッキー☆アイランド』（文化庁委託事業,2015）

『ばけ～しょん★プリーズ』（南会津町主催事業,2017）

『ほんとの空のその向こう』（第69回全国植樹祭,2018）

『鼬2021』（文化庁委託事業），他多数．

■11/18基調講演（聞き手）■ 吉田千亜 (Chia Yoshida)

＜プロフィール＞□埼玉県出身．立教大学文学部卒業．出版社勤務を経て，フリーライター．主に原発事故の取材を続けている．原発事故当時，不眠不休で続けられた地元消防の活動と葛藤を，一人ひとりへの丹念な取材にもとづき描き出した『孤塁　双葉郡消防士たちの3・11』にて，第42回講談社・本田靖春ノンフィクション賞(2020)，日隅一雄・情報流通促進賞2020大賞，日本ジャーナリスト会議（JCJ）賞を受賞．

■主な書籍■

『ルポ母子避難：消されゆく原発事故被害者』（岩波新書,2016）

『その後の福島 原発事故後を生きる人々』（人文書院,2018）

『孤塁 双葉郡消防士たちの3・11』（岩波書店,2020）

++

【2】□フクシマの“いま”を知るー自然科学と人文社会科学との対話から：教育を軸に考えるー

Understanding Fukushima Today: From a Dialogue between Natural Sciences, Humanities and Social Sciences. Rethinking Education.

［11月19日（日）］ 大隈記念講堂□大講堂

□□1□□□10:00□□□

□□□

□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□⇒□□□□□□□□

□□□□□□□□[redacted]□□□□
□□□□□□□□[redacted]□□□□□□□

□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□

■□□□

□□□

□□□

『されどマルクス』日本評論社、2018年5月などがある。

（申込みおよび参加方法）

次のURLまたはQRコードからお申込みいただけます。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_vVHP0d6zSSOwEeIz42ndvA

お申込みご登録後参加に関する確認のメールが届きます。

資料のダウンロード用のURLは申込み後、別途メールにてご案内します。

会場参加の方（会場希望者中、申込み先着３０名）は会場までお越しください。

ズームでご参加の方は、ZOOMウェビナーによる開催となりますので、お申込み頂いた方にＵＲＬを送ります。

（申込用QR）

（参加費）◎カンパ（1000円）のお願い

本学習会のご参加は無料ですが、カンパにご協力いただけますと大変幸い

□□□
□□
□□

6381

◎□□□